

D 脈力の異常

脈力とは、脈に触れた指先に感じる拍動の強さである。少し力を加えただけで拍動が触れなくなるものを「無力」、かなりの力に抵抗して強く拍動が触れるものを「有力」という。

1. 虚脈（きょみやく）

脈象：三部脈拳之無力，按之空虚
主病：虚証

寸・関・尺の三部で浮取・中取・沈取とも

に無力な脈である。一般には、無力な脈を虚脈と称する。

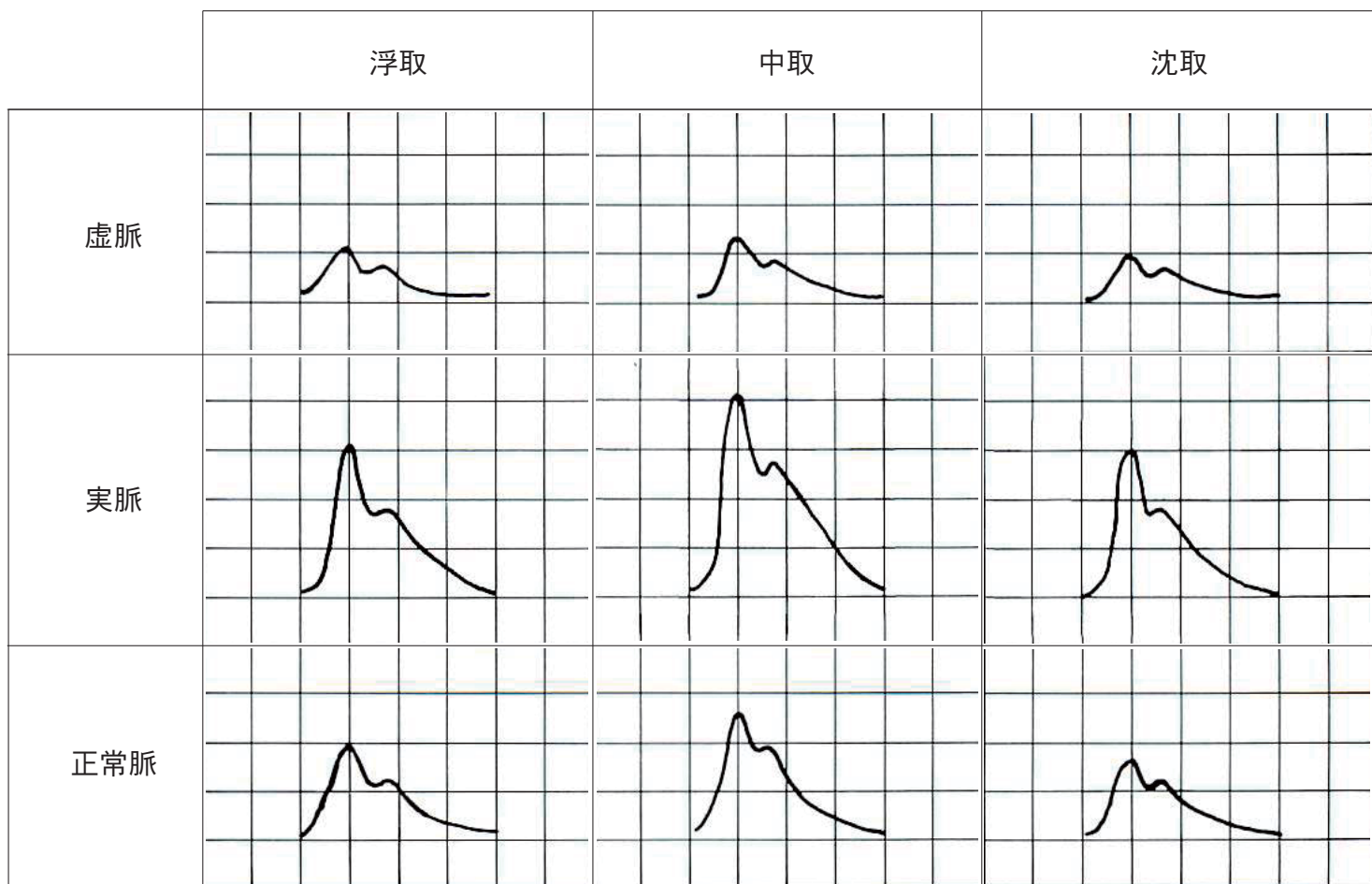
脈波模型で概念的に示すと、図9のようになる。

陽気の虚では血流の推進力が不足し、陰液の虚では血脈の充盈度が不足し、いずれも脈が無力になる。

心拍出量が減少し、血管の弾力性も低下したために発生すると考えられる。

基本的には、気虚は脈が無力、血虚は細を呈し、気血の不足では細で無力のことが多いが、いずれにしても脈力は弱い。また、陰虚では数に偏し、陽虚では遅に偏する。

実際にみられた陽虚の虚脈を図10に示した。



■ 図9 虚脈と実脈の脈波模型